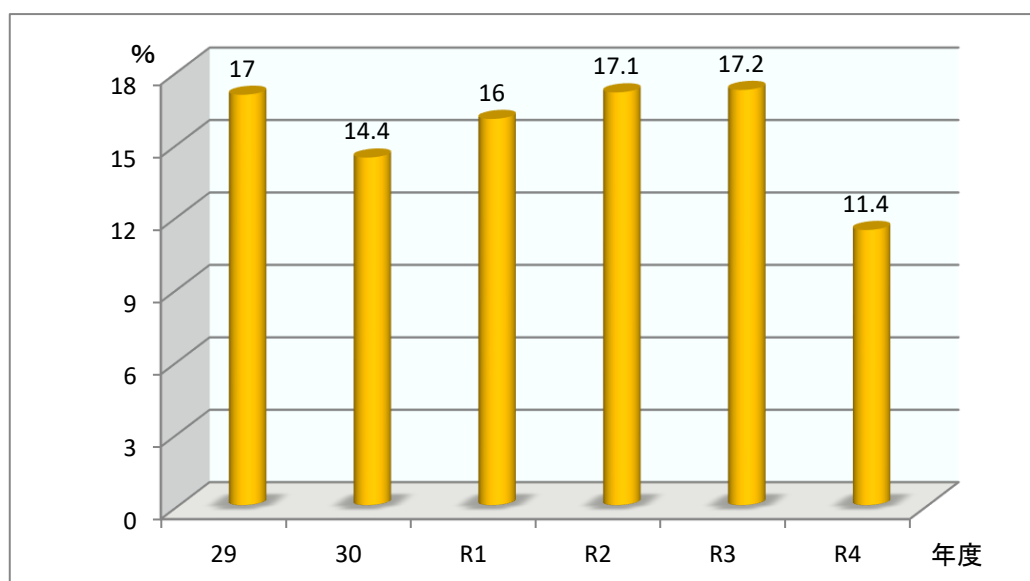


4 剖検率

解説

剖検率とは、本院で死亡された患者数に対する病理解剖された患者数の割合をいいます。病理解剖により全身を詳細に観察することは、診断や治療を含む医療の検証であり、そして今後の医療に生かす事に繋がります。また当該症例に係わった全ての医師の経験につながります。従って医療の質を確保し向上させる上で大変重要です。

実績



自己点検評価

院内で亡くなった患者さんのうち病理解剖を行った割合を剖検率と言います。よりよい医療を目指す病院全体および医師個人の意志が剖検率に反映されます。すなわち、病理解剖によって医療の検証、検討を行い、後の医療に生かす事が極めて重要です。そのためには患者さんのご家族の病理解剖へのご理解が欠かせません。よりよい医療を目指すため一例一例の貴重な症例を教訓とするためにご協力いただければ幸いです。そしてみなさまの信頼が得られる医療を目指したいと思います。

定義

各年度1年間の病理解剖実施率(院内死亡患者に限る)

算式

分子: 病理解剖件数
分母: 院内死亡患者